

「学習用語とイメージ図」

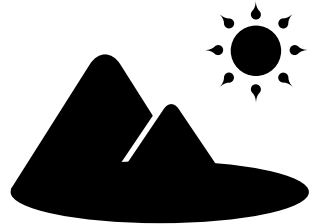
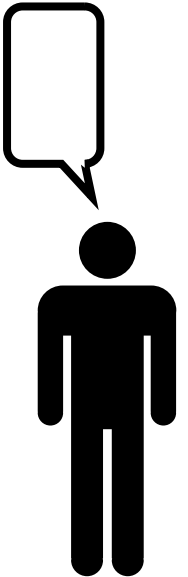
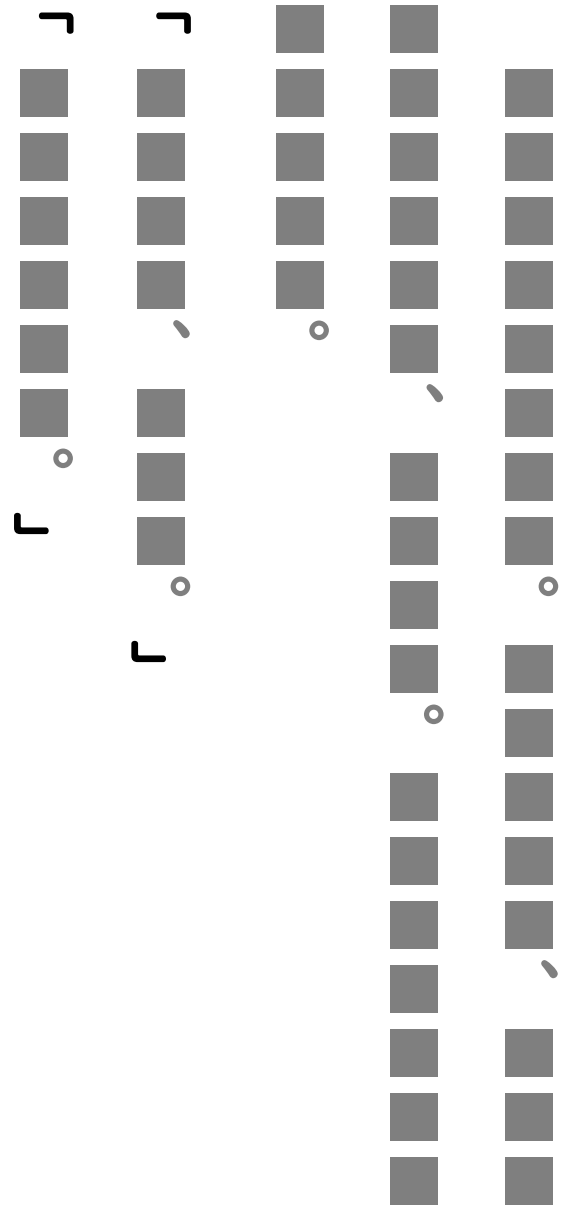
物語文



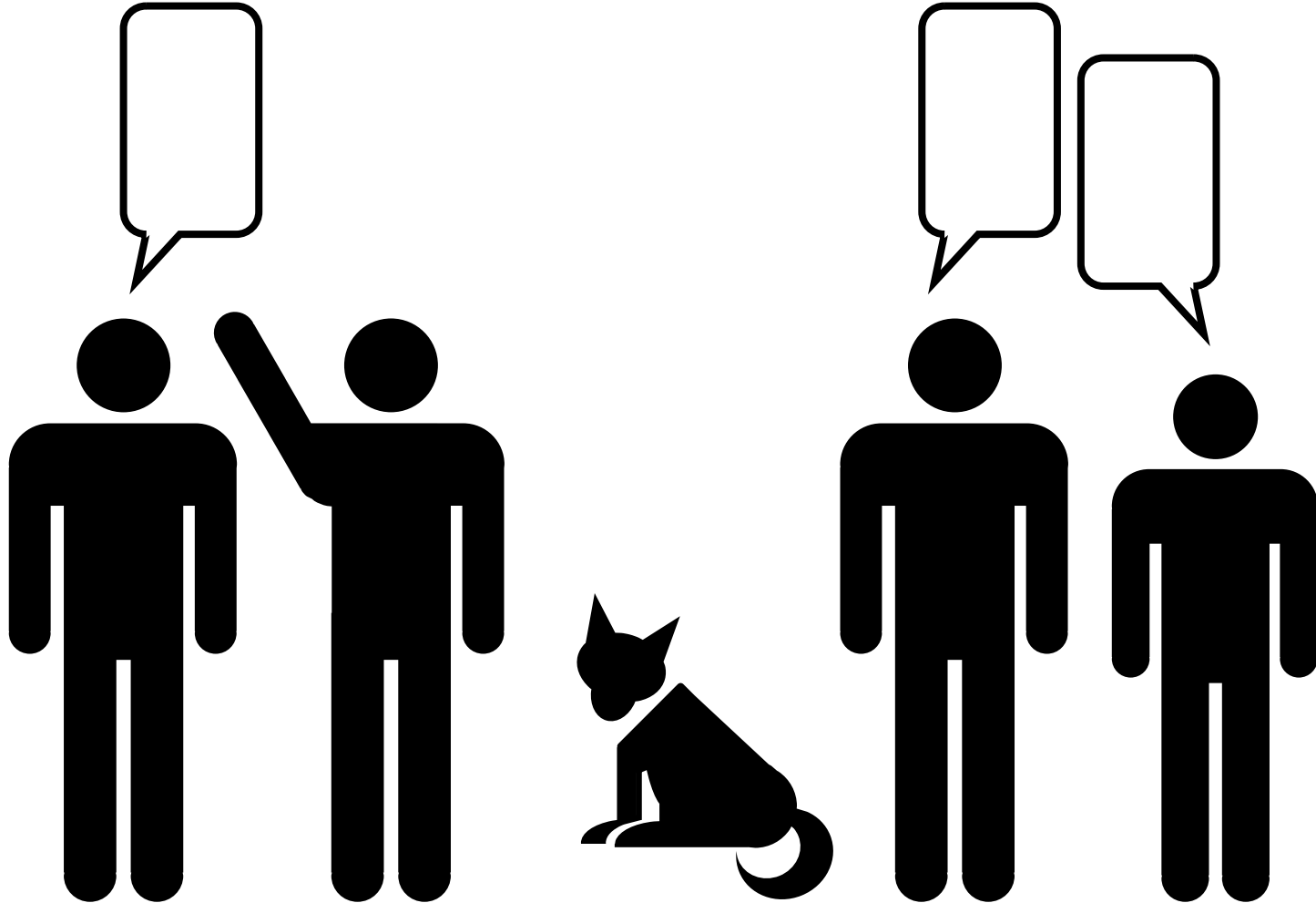
地の文じぶんと会話文かいわぶん

地の文じぶん

会話文かいわぶん



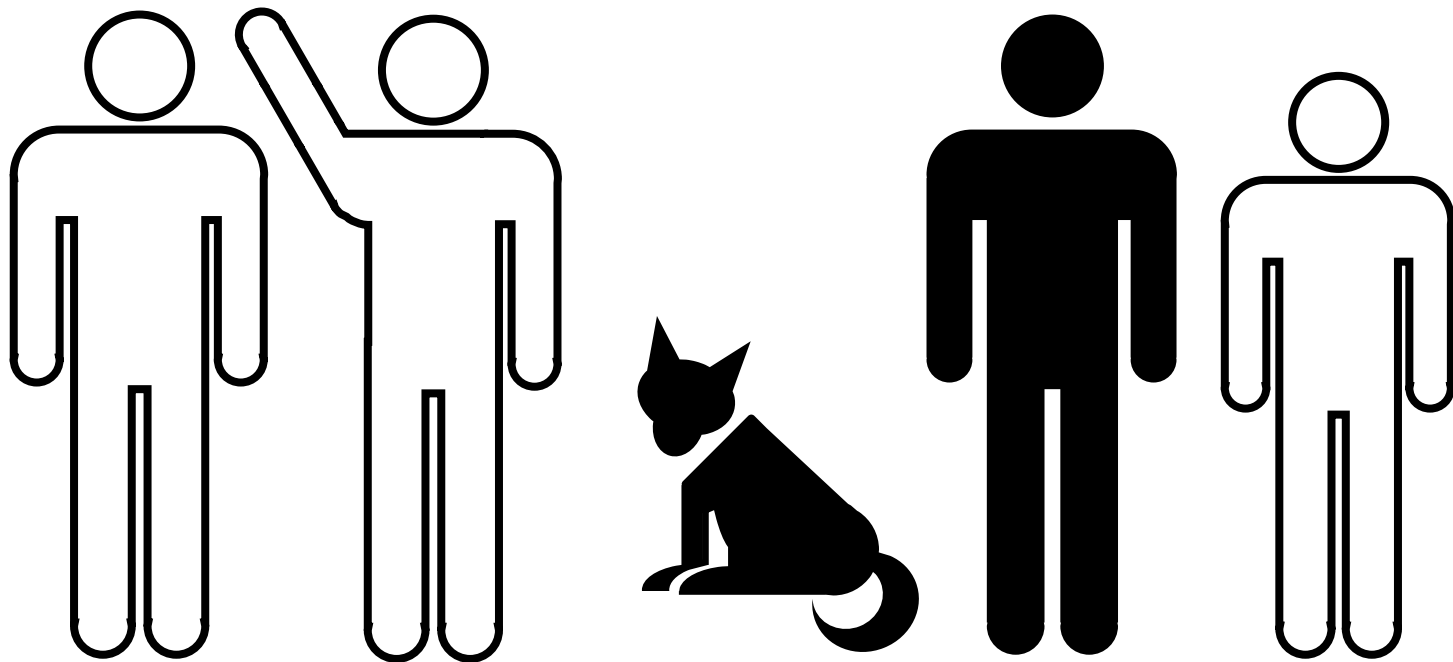
登場人物 とうじょうじんぶつ



ちゅう しん じん ぶつ
中心人物と
たい やく
対役
(しゅじんこう しゅやく)
(主人公・主役)

ちゅう しん じん ぶつ
中心人物

たい やく
対役



人物関係

じんぶつかんけい

「桃太郎」の例

ももたろう

れい



キジ

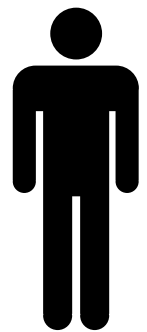
さる
猿

いぬ
犬

「無事に帰ってきて」

「お供します」

おばあさん



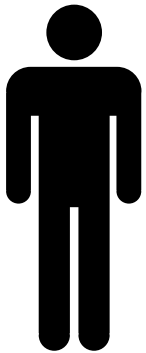
育てる



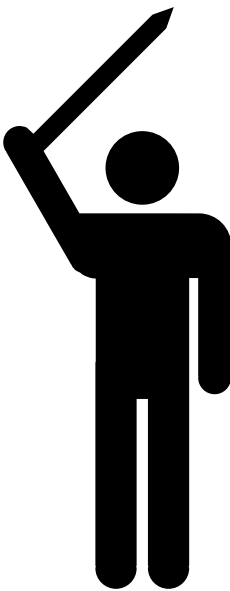
「きびだんごをやるう」



おじいさん



「鬼退治をしなければ」

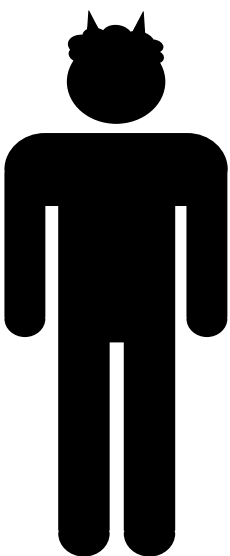


ももたろう
桃太郎

退治する



「桃太郎は強い。降参だ」

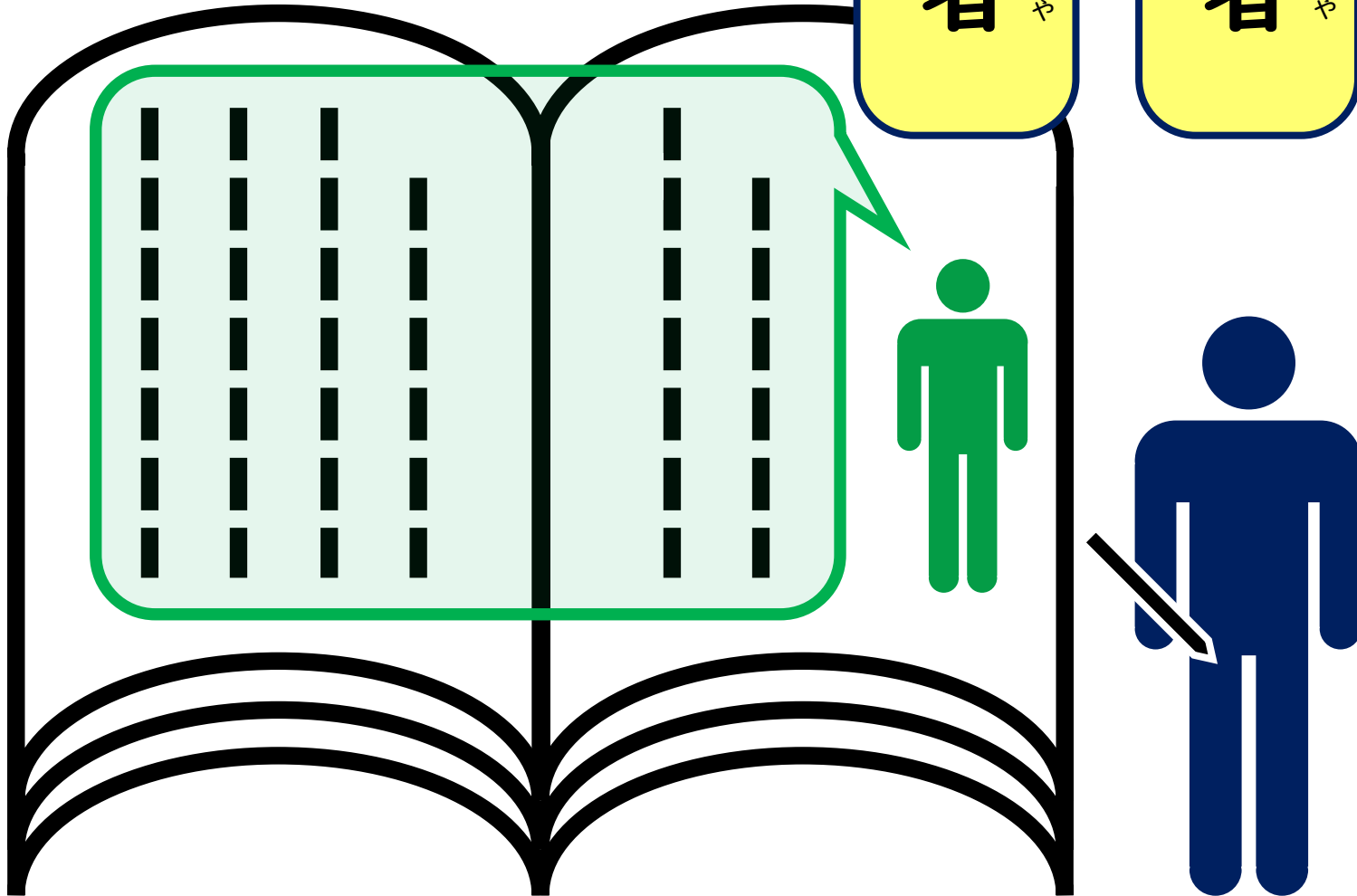


おに
鬼

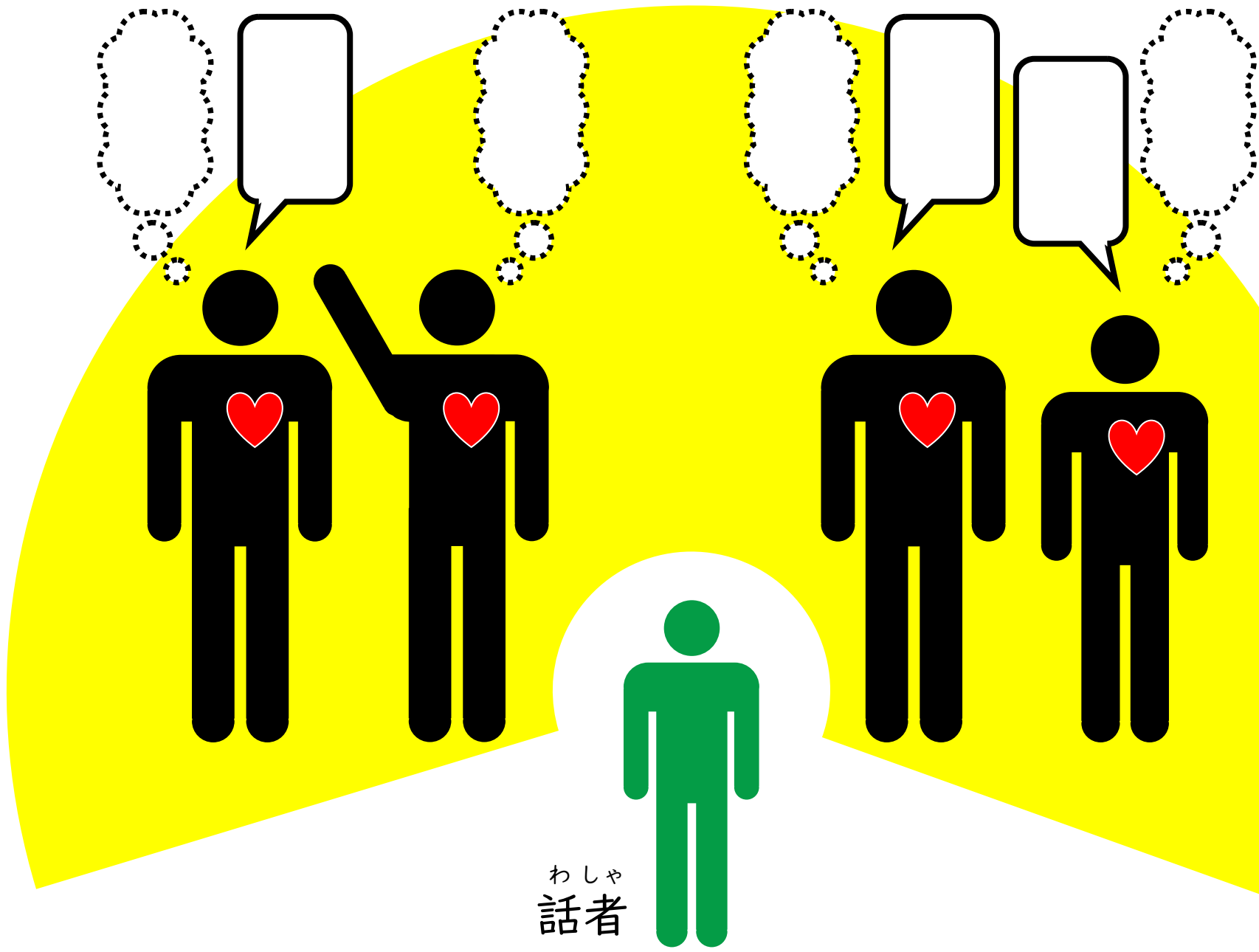
作者さくしやと話者わしや

作者さくしや

話者わしや



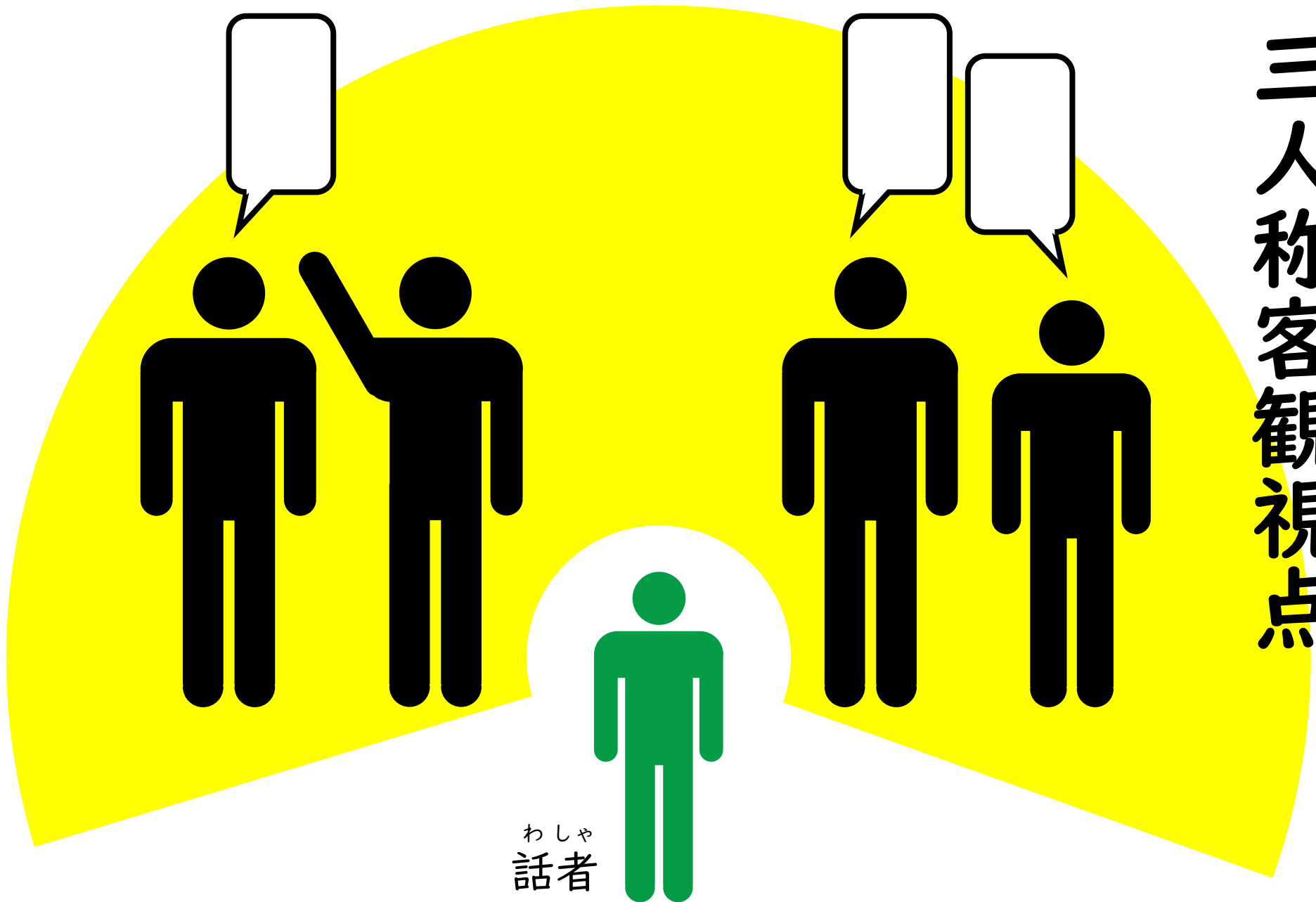
三人称全知視点
(神の視点)



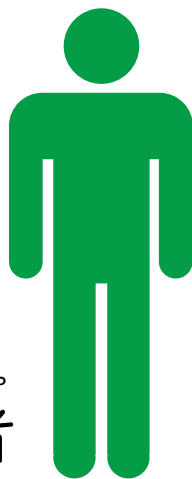
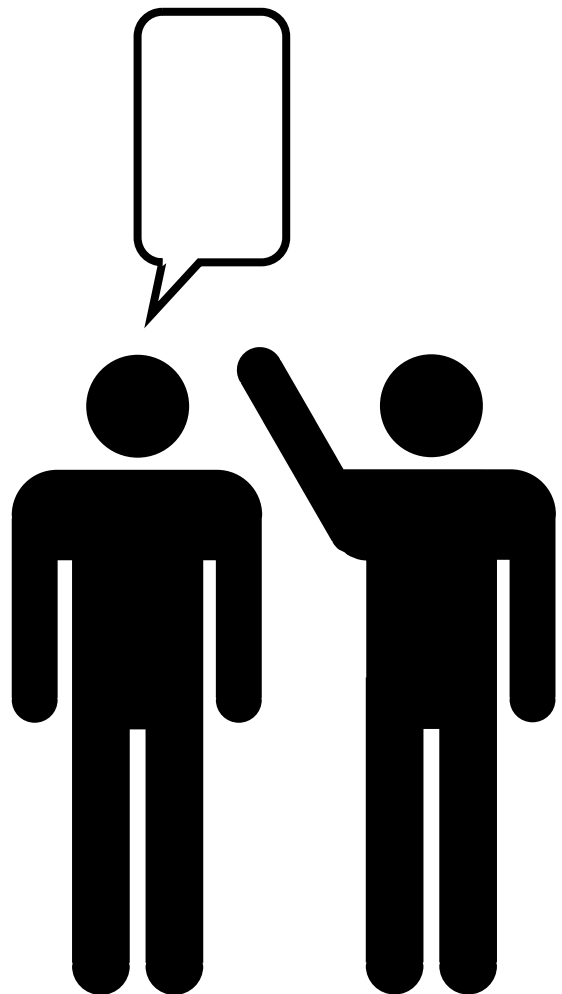
わしゃ
話者

三人称客観視点

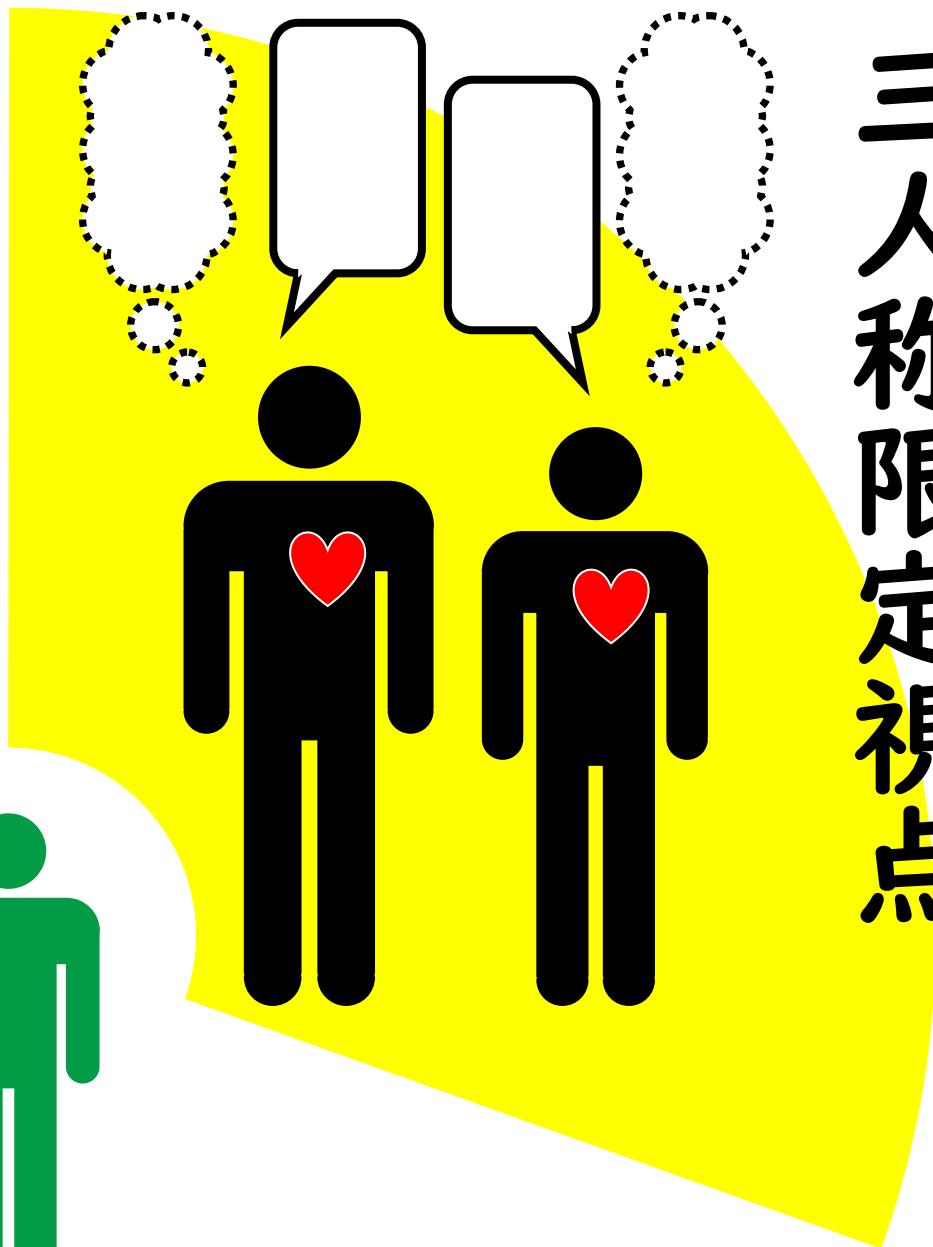
さん
にん
し
ょう
き
や
つ
か
ん
し
て
ん



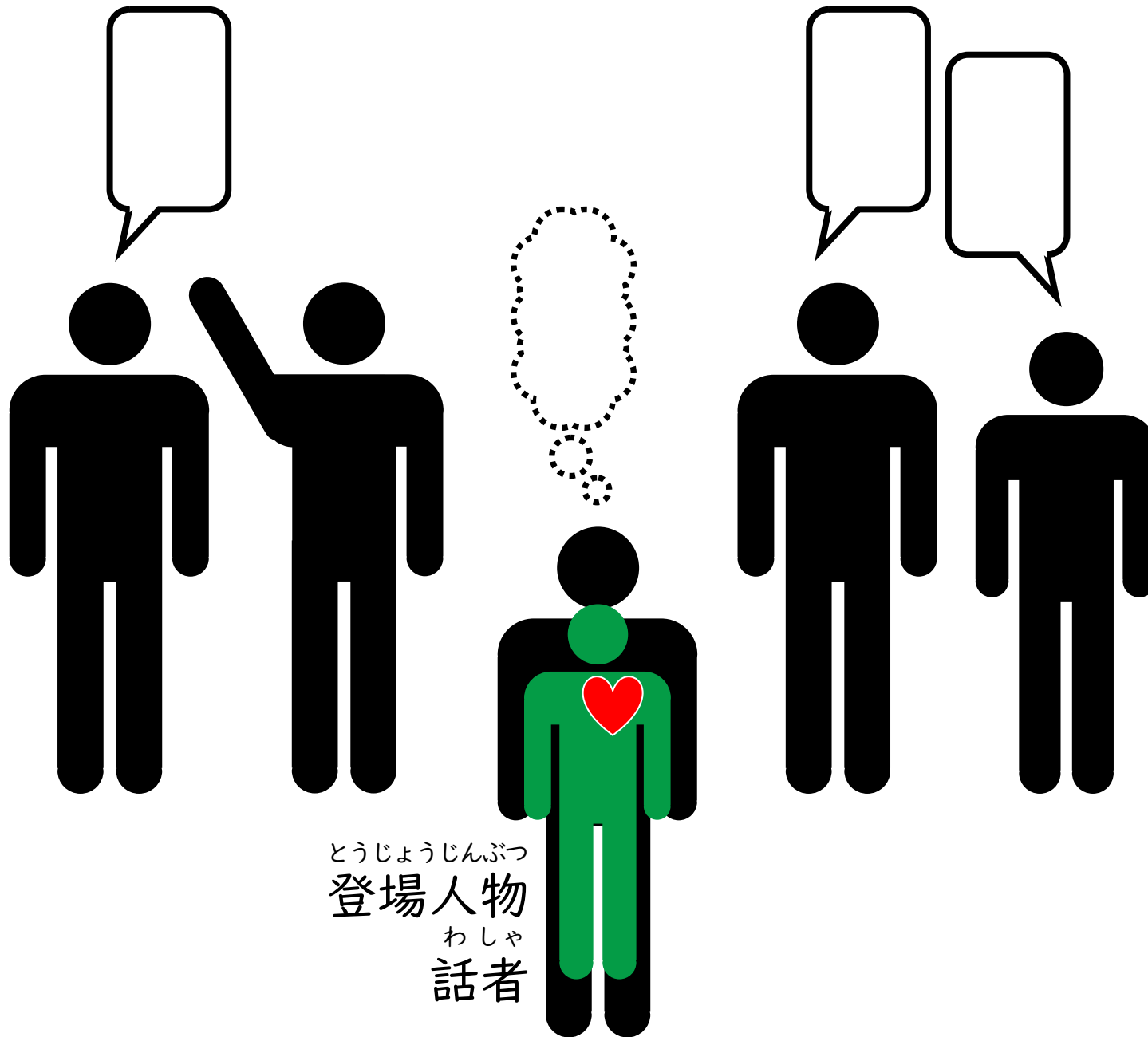
わ
し
や
話
者



わしゃ
話者



さん
にん
しょう
げん
てい
し
てん
三人称限定視点



どうじょうじんぶつ
登場人物
わしゃ
話者

いち
にん
しやう
し
てん
一人称視点

視点してんてん (話者わの視者しの視点てん)

行いった



行いく



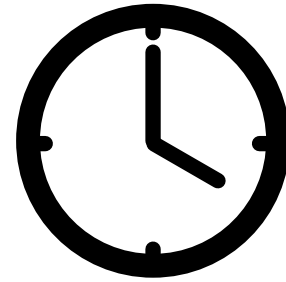
とうじょうじんぶつ
登場人物

来くる・来きた

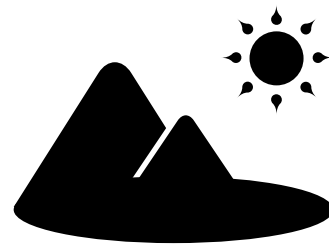


設定 (場面) の設定

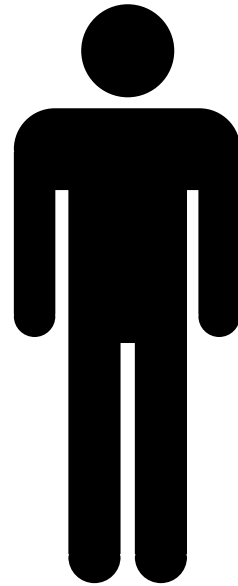
いつ



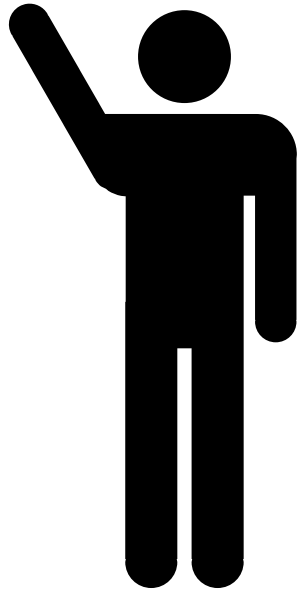
どこ



だれ



どうした



事件 じけん

(出来事 できごと)

『桃太郎』の例 ももたろうのれい

事件 じけん
①

生まれる。
桃太郎が桃から



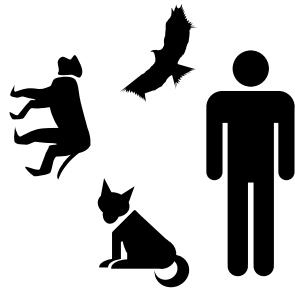
事件 じけん
②

治しよう おんと決める。
桃太郎が鬼を退



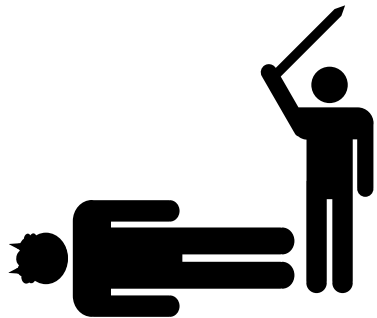
事件 じけん
③

キジをお供にする。
桃太郎が犬と猿と



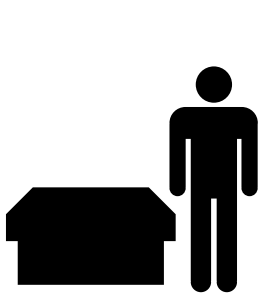
事件 じけん
④

で鬼を退治する。
桃太郎が鬼ヶ島



事件 じけん
⑤

家に持ち帰る。
桃太郎が宝物を



起承転結 きしょうてんけつ

事件 じけん
⑤

事件 じけん
④

事件 じけん
③

事件 じけん
②

事件 じけん
①

結 けつ

転 てん

承 しょう

起 き



〈『桃太郎』の例〉 ももたろうのれい
















クライマックス

結 けつ

転 てん

承 しょう

起 き

					心情 <small>しんじょう</small>
					視点 <small>してん</small>
					色 <small>いろ</small>

クライマックス

モチーフ (中心題材)

〔「桃太郎」の例〕

事件 ①

生まれる。
桃太郎が桃から

事件 ②

治しようとする。
桃太郎が鬼を退

事件 ③

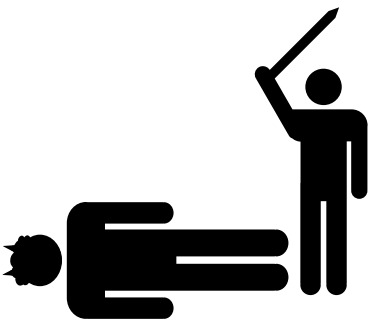
キジをお供にする。
桃太郎が犬と猿と
鬼退治

事件 ④

で鬼を退治する。
桃太郎が鬼ヶ島

事件 ⑤

家に持ち帰る。
桃太郎が宝物を

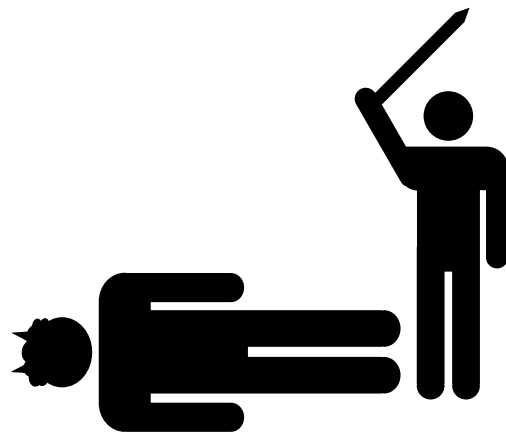


主題しゅだい (テーマ)

「桃太郎」の例れい

モチーフ

鬼退治おにたいじ



主題

人間にんげん

人間は、悪あくと戦たたかわなければならぬ。

世の中よなか

世の中は、正義せいぎが勝かつ。

人生じんせい

人生には、勇気ゆうきと仲間なかまが必要ひつようだ。

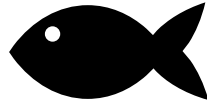
対^{たい}比^ひ
例^{れい}



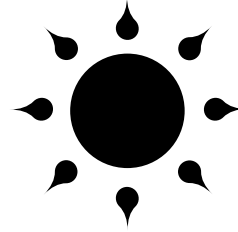
クリスマス



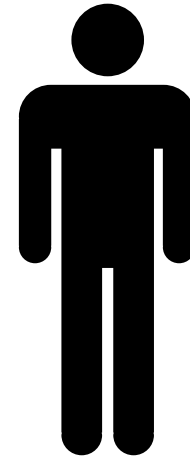
はいいろ
灰色



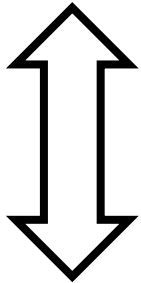
いっぴき
一匹



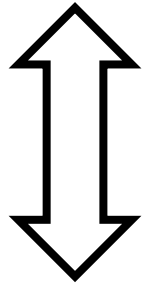
は
晴れ



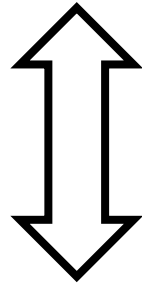
せい
生



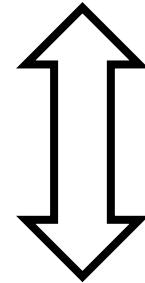
たなばた
七夕



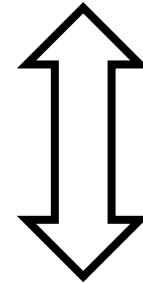
くろ
黒



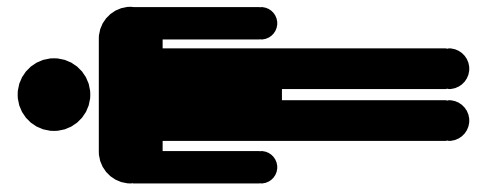
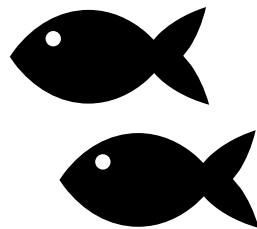
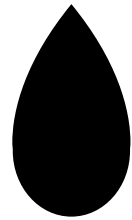
に ひき
二匹



あめ
雨



し
死



情景描写

じようけいびじようしや

〈例〉

れい

たいじよう ひかり やま のはら

太陽の光が、山や野原を

あたた

暖かくてらしていました。



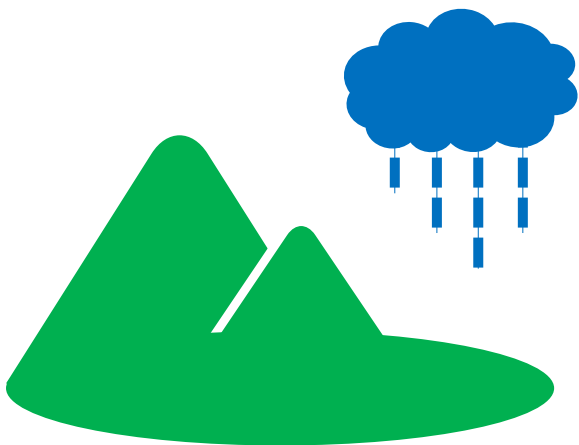
そら くも

空は雲でおおわれていて、

つめ

あめ

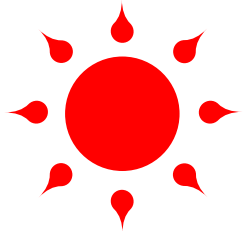
冷たい雨が降っていました。



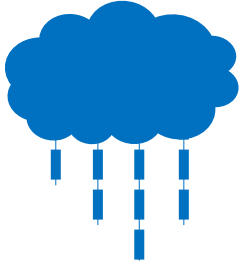
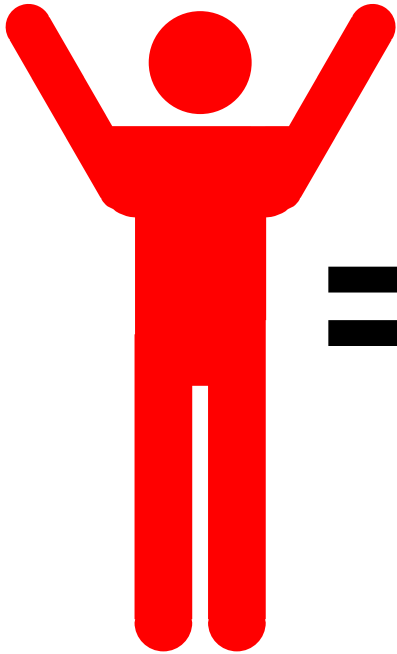
じょうけいびやうしゃ
情景描写と
しんじょう
心情

じょうけいびやうしゃ
情景描写

しんじょう
心情



=



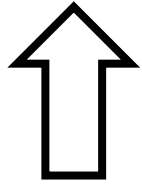
=



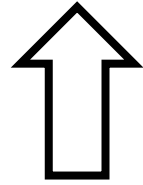
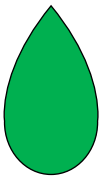
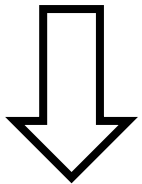
困難 (こんなん) 人生 (じんせい)

不幸 (ふこう) 恵み (めぐみ)

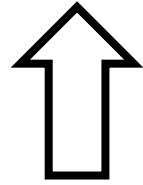
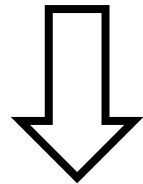
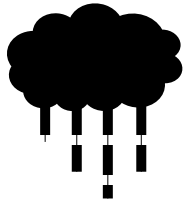
幸福 (こうふく) 親 (おや)



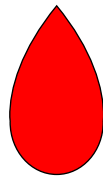
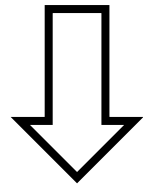
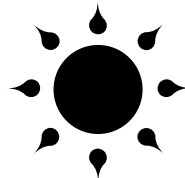
山 (やま)



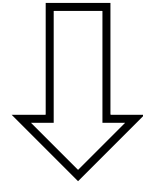
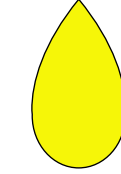
雨 (あめ)



太陽 (たいよう)



言葉のイメージ (ことばのイメージ)

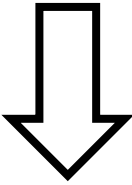
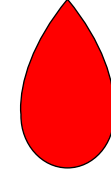


金 (きん)

光 (ひかり)

危険 (きけん)

温かい (あたたかい)



火 (ひ)

血 (ち)

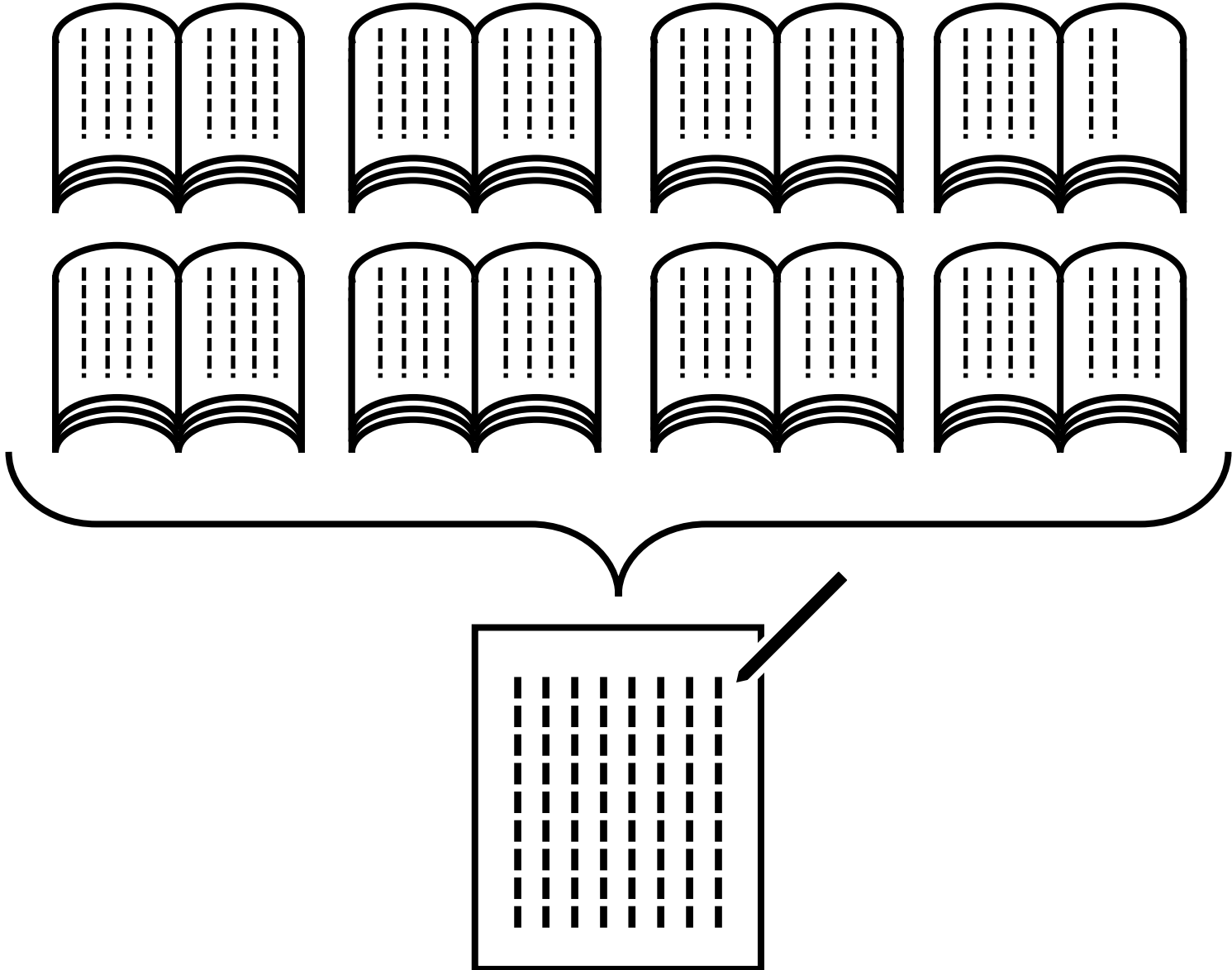
熱い (あつい)

燃える (もえる)

色のイメージ (いろのイメージ)

イメージ 例 (イメージ 例)

ものがたりぶん
物語文



あらすじ